

国語解答用紙

採点欄 二

問一	1 怠惰
問二	2 営為
問三	3 至当
問四	4 表白
問五	5 束縛

「中世科学が近代科学のためにあった」ということは明白な間違りではあるが、文章を著す際、「ためにあった」という誤解を招くような表現を書いてしまふこと。

ア しかも イ それゆえ ウ さらに

過去の科学の歴史を「正しい」「正しくない」と分類し、「正しくない」考えを斥けることにより生まれた、現在私どもの手にある科学を「正しい」と考える理論。

科学史の分野で「正しい」「正しくない」という基準で論じられているが、美術史、音楽史の分野では、「正しい」「正しくない」は問題にならないということ。

採点欄 二

解答省略

採点欄 三

問一 ア キ する イ せ

「逢ふ道」とは名ばかりで、あなたに逢うことのできない恨みの心を持ちながら帰るということ。

親が何かと自分の交際する男について口出しするのを防ぎきれない女の状況。

返事さえもせず、以後全く訪れることがなかった。

コード	四	三	二	一	得点
1	0				
7	8	11	12	14	15
				17	18
				20	21

採点欄 四

問一 a ゆゑんの b なんぢや

問二 c ことへま d なり

幾度となく戦つて、その都度勝利するというのは、国家にとつて幸いなことである。それなのに呉が滅亡した理由はどこにあるのだろうか。

いまだほろびざることあらざるなり。

越

受験番号									
1	2	3	4	5	6				